

なんか

やってま〜す

～福祉委員情報紙～

ナンバー 008

発行 平成 23年 7月

発行元 坂井市社会福祉協議会

坂井市社協福祉委員幹事会

ある日の様子

幹事会は657名の福祉委員の中から代表者各町それぞれ3名ずつを選出し合計12名の幹事で構成されています。

毎月の会合では各地区の行事予定や事例報告、地区の問題点などが幅広く話し合われており、東日本大震災を契機に、災害マップをいかに広めていくかも協議されています。

4町合併で社会福祉協議会も合併しましたが、福祉活動や意識に関する地域格差は大きく、福祉委員のみなさんに任期中いかに役割を理解してもらい、参加してもらうのが大きなテーマの1つとなっています。

幹事会では各地区の福祉情報を共有し、地域の実情に合わせた福祉委員の活動に役立てていけるよう、これからも本誌紙面などを通じて発信していきます。

各地区の幹事のみなさんは次のとおりです。

(敬称略)



6月の幹事会の様子

みくに	石丸 博巳	はるえ	吉田 弘治
	榊 節子		中嶋 圭子
	高市 菊江		小林 美宏
まるおか	石田 正美	さかい	伊藤 浩
	上杉 秋良		関 輝勝
	西尾 榮子		高原 尚美

福祉委員 匿名希望さん(春江町)に聞いてきたぞ〜

私達福祉委員が委嘱を受けて最初に戸惑うことは「福祉委員になぜ私が?」「忙しい日常の中で、何をやればいいのか」ということだと思います。

先日開かれた地区福祉委員会でも福祉委員が一人で雪かきを行っていたところ、「そういう時は声かけてや」と近所の人から声をかけられたそうです。「支え合い」という形は区によって様々ですが、全員が地域での見守りの必要性を感じていると思います。一歩先のところ、これからのところ、この委員会で気がついた事を少しでも区で活かすことが出来たらと思いました。

春江西部地区福祉委員 細川 保子

高塚中部の初体験

去年、福祉委員会で「何かやろう」という話になりました。会を重ねることに輪が広がり、実行部隊が十人ほどになりました。地域のお年寄りのサロンを行うための財源を作るため、公民館まつりにやきそばを出しました。道具を地区から借りてくる人、食材準備をご主人と一緒にやって軽トラで運ぶ人、当日だけでも販売を手伝うと言ってくれた人…。

丸岡高塚中部地区福祉委員 宮越 健夫

幹事さんに きいてみよう



《キーワード》
一人じゃないよ

福祉委員になって初めて耳にする言葉や制度、そして考え方。
今回は、「そんなむずかしいことできるかな…」と感じているあなたにお届けします。



初めて福祉委員になったけれど、何をやってよいのかわからなくて不安。どうしよう。

福祉委員の活動は、あなたの区の人が喜ぶことであればなんでもいいと思います。サロンを開いている地区もたくさんあるので、あなたの地区にふさわしいサロンを開いてみては？

動いてみれば、住民の声も聞くことができますよ。肝心なのは、その声に耳を傾けること！そこからまた、新しい取り組みが見えてくるかも！！あなたの体験が一番の「学び」です。

サロンは自分ひとりでは難しいこともあるので、私たちも一緒に相談にのりながらやっています。気軽に声をかけてください。



活動を始めたけれど、これでいいのかな。

あなたの体験を、地区の福祉委員の集まりで話してみてもらえるといいな。そうすると、ほかの人の体験もいっぱい聞けると思う。

語り合うことも成長するのに大事！！がんばりましょう！！

また、社協が主催する研修会は、全国で活動していらっしゃる講師を招いて行われるため、たくさんの気付きがあり、活動に対してパワーが出るね。これも「自分の宝」です。



社協情報

掲載等のお問い合わせは

みくに支部	Tel	82-1170
	Fax	82-1593
まるおか支部	Tel	68-5060
	Fax	67-2950
はるえ支部	Tel	51-4545
	Fax	51-6269
さかい支部	Tel	67-0640
	Fax	67-2807

前号の「JUBILEE」について
詩集『へびけなひで』を私も2冊買
って読ませて頂きました。もう1冊は
実家の母へ（八五歳！車いす生活）ち
よっと弱気になってきた母に元気に
なって欲しいから。
母は繰り返し読み「あゝ本当やな
あ。良い事かいてあるなあ。難しいこ
とはわからんけど、何べんも何べんも
開いてよんでいるよ。ありがとう！」
と自分を元気づけてもらっている
言ってくれました。
すごく優しい詩の内容で私も気が
つくと涙がにじみ…と同時に元気を
もらっていました。生きていく基本が
詩の中にあるとしみじみ思っていま
す。前号の記事に共感した私の感想で
した。（高市代表委員取材）